

▲▽ 研修会特集 事例報告 ▼▲

# 図書室活性化への道

黒石 正樹

## I. 担当となった頃の状況

当院は、病床数 714 床の規模で、広島市中核病院です。

私は、平成 8 年に総務課、病歴管理係長として図書室担当となりました。担当と言いましても当時は雑務が多く、図書室本来の業務はほとんどできませんでした。しかし、平成 9 年に業務整理が行われ、新しく図書係長となり、本格的に図書室業務を始める事になりました。

## II. 図書室担当者としての自己研鑽

専任になったとは言っても、図書に関する知識は全く無く、また図書館についての情報も入らない状態でしたので、早速「医学図書館」を購読し、「病院図書室研究会」と「近畿病院図書室協議会」に入会しました。しかし何よりも初心者の私にとって助かったのは、「日赤図書室協議会」が発会となり、多くの同じ赤十字の優秀な担当者の方々の情報提供を受けられることでした。この素晴らしいヒューマンネットワークのおかげで、図書館業務についての知識の習得・情報の入手ができるようになりました。

外部のものとして、東京で開催された「第 14 回医学情報サービス研究大会」へ参加して、医学情報全体の状況がよくわかるようになりました。この大会は雰囲気が大変素晴らしく、本年 6 月に松山で開催された第 18 回の大会にも参

加しました。

## III. 図書室機能の充実 (図 1)

1. 普通の長机からオフホワイトの図書室専用の机に変え、同時に座りやすく明るいブルーの椅子 6 脚も設置しました (図 2)。これにより部屋の雰囲気も随分あかるくなりました。

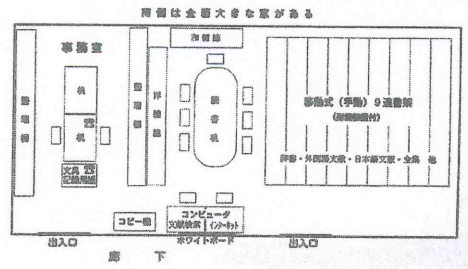


図 1 図書室のレイアウト(1)

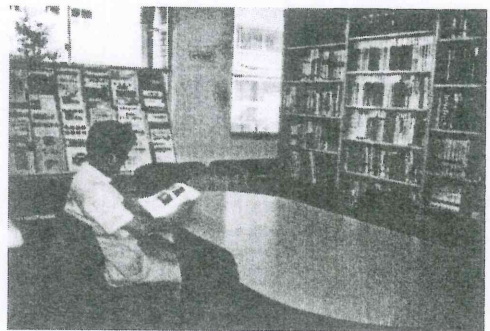


図 2 図書室内

2. 開架式書架を 9 連の移動式書架に換えて質量ともに充実させました。書架は耐震設置付で、本年 3 月 24 日の芸予地震では全く事故が発生せず地震対策の重要性を実感しました。
3. 看護雑誌が 9 種類だったので 20 種類に増やす等、Impact Factor の高い雑誌を充実さ

KUROISHI Masaki

広島赤十字・原爆病院

hi-tosyo@hiroshima-med.jrc.or.jp

せました

4. 雑誌・製本類が無秩序に並べてあったので、製本の表紙のカラーを種類ごとに変えて、洋雑誌はアルファベット順に、和雑誌は五十音順に並び換え、取り出しやすいように細かい配慮をしました。
5. 辞典等の基本文献を充実させました。
6. 広報誌「Library Information」を発行すると共に、大型のホワイトボードを設置し、職員への情報提供を開始しました。
7. 多様な機能をもった大型コピー機を設置しました。
8. Macintosh のパソコン一式を設置して、医学中央雑誌・MEDLINE 等の CD-ROM による文献検索を開始しました。また、電子ブックも閲覧できるようにしました。ディスプレイは 21 インチの大型にして見やすさを重視しています (図 3)。

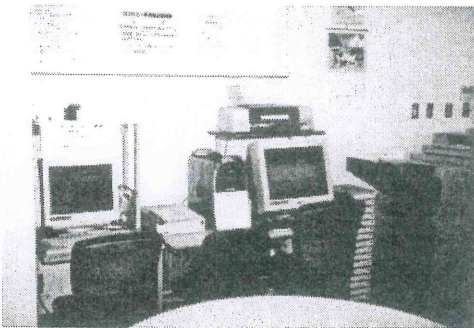


図3 パソコン

9. Windows のパソコン一式を設置して、インターネットによる文献検索を開始しました。
10. 利用者が一人で検索できるように、医学中央雑誌・MEDLINE・インターネットそれぞれの簡易操作マニュアルを作成して、各部署へ配布し、便宜をはかりました。

#### IV. 病院経営に貢献する情報提供

図書室担当者として、これからの時代は事務部長をはじめとする、病院の経営者及び、各部署の責任者等へ積極的に情報提供を行い、経営戦略の構築に貢献することが重要だと感じ、今日まで積極的に行動してきました。

本件については、豊田恭子氏の「ナレッジ・マネジメントとは何か」<sup>1)</sup>を読み、私の行動が間違っていないことを確信しました。医学情報提供の場としての図書室は、将来的には、センター的役割を果たすのがベストではないかと思っています。

#### V. まとめ

図書室機能の充実により、図書室の利用者は確実に増えています。私も多くの職員とコミュニケーションをとることができ、意見を聞きやすくなりました。十分に意見を吸収し自己研鑽を積み重ねて、さらに充実した図書室となるようにがんばってまいりますので、今後ともご指導の程、よろしく願いいたします。

最後に J P モルガン・ビジネス・リサーチの豊田恭子氏の言葉で締めくくります。

《たゆみなく自己の研鑽を積むこと。積極的にチャンスを生かすこと。多くの成功者たちはみな、このふたつを実践しているように思います》

#### 参考文献

- 1) 豊田恭子：ナレッジ・マネジメントとは何か、日赤ライブラリアンニュース 2001;7(2)：8-11.